

SkyGateOne II でリモートデスクトップ接続を行う

作成 2008/11/21

改定 2009/03/14

1. 接続図

SkyGateOne でリモートデスクトップ接続を行う方法を説明します。

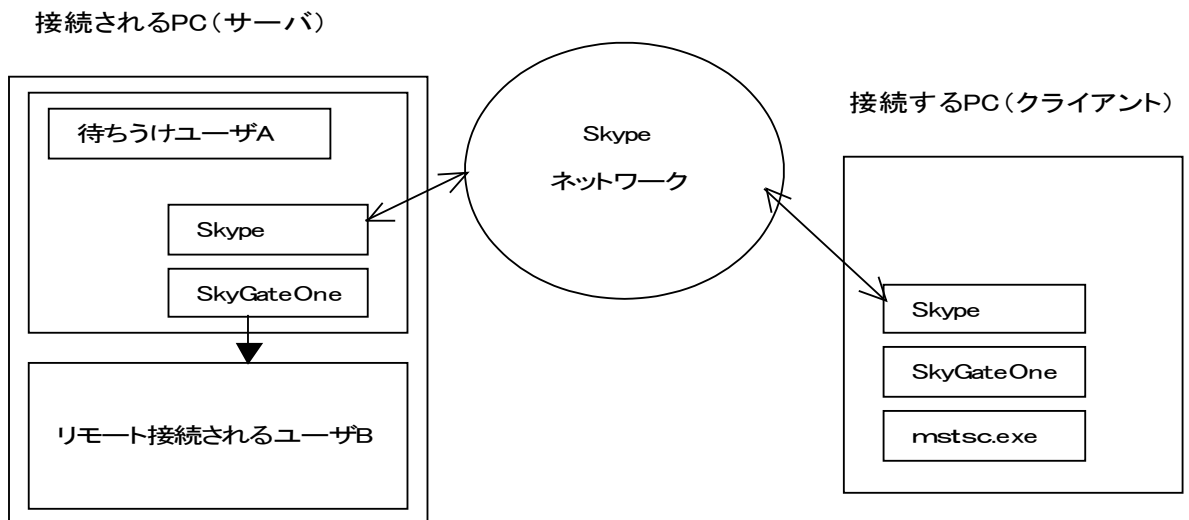
リモートデスクトップ接続の設定方法はMS の下記サイトなどを参照してください。

<http://www.microsoft.com/japan/windowsxp/pro/business/feature/remote/remotedesktop.mspx>

接続される PC は WindowsXP-Pro 以上が必要です。接続する側の Windows は XP-Home バージョンでかまいません。

接続される側の PC は、ユーザは2つ以上必要です。それぞれパスワード設定を行います。

今接続される側 PC の SkypeID を AppleMakers,接続を待ち受ける Windows ユーザをユーザ A,リモート接続する Windows ユーザをユーザ B として記述します。



2. 設定方法

(1) 接続される PC で準備すること

接続される PC では、待ち受け用ユーザ A とユーザ B を作成します。ユーザ A はリモートデスクトップ接続の認証は行いませんので必ずしもパスワードは必要ありません。ユーザ B はリモートデスクトップ接続認証を行いますのでパスワードの設定が必要です。

(2) 接続される PC のユーザ A で準備 & 設定すること

Skype をインストールして、SkypeID を *AppleMaker* で設定します。SkyGateOne をインストールしてサーバの設定を行います。待ち受け SkypeID は *OrangeMaker*、ポート設定は 3389 番ポートを設定します。

(3) 接続される PC のユーザ B で準備すること

ここがリモート接続されるユーザになります。こちら側のユーザの設定はありません。

(4) 接続する PC で準備 & 設定すること

Skype をインストールして、SkypeID を *OrangeMaker* で設定します。

SkyGateOne をインストールしてクライアント設定を行います。

ポート番号は 9000 番で設定します。(任意のポート番号で OK です。)

ここであらかじめ、SkyGateOne の接続先を *AppleMaker* を選択して Open します。

リモート接続を起動します。接続先の設定は、**127.0.0.2:9000** と設定します。

ここで接続ボタンを押下するとリモートデスクトップが起動します。

(接続先を 127.0.0.2 とするのが重要！です。リモートデスクトップクライアントはローカルホストへの接続を抑止しているのですが何故か 127.0.0.2 は通ります。)

次に接続先のユーザとパスワードが要求されますので、ユーザ B の名称とパスワードを設定します。また接続オプションで「エクスペリエンス」タブでブローバンド以下を選択してください。(最初はモデム 56 Kbps ぐらいで試して実際の帯域見合いで適切なパフォーマンスを選択して下さい)

※文章中の SkypeID (コンタクト名) *OrangeMaker* と *AppleMaker* は実際の名称で置き換えてください。